

事業所名

でいさーびす あいりんご6

支援プログラム (参考様式)

作成日

R7 年

3 月

15 日

法人（事業所）理念		<p>「楽しい・安心できる・使命感」をテーマに重点を置いています。                  まず、楽しい気持ちを持つためには、同じ目線に立って自分も一緒に楽しむ。                  次に安心できる気持ちを持つためには、もしも相手が自分の家族や友達だったらと思って接することです。                  最後に使命感は、「自分だから」「自分しかできない」という気持ちをもって行動する。</p>			
支援方針		<p>楽しい・安心できる・使命感を持った支援</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 楽しい (Enjoy)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども自身の楽しいを大切にしていき、その楽しさを否定せず力いっぱい肯定していく支援を行うことで、自己充足感を子どもたちが持てるようにする。。</li> <li>・まずはスタッフ自身が楽しむ姿勢を見せることで、子どもにとって良いお手本となるようにする。</li> </ul> </li> <li>2. 安心できる (Safety &amp; Trust)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・家や学校とは違う環境・人・活動を通して新しい居場所づくりを行う。</li> <li>・本人の気持ち・様子に寄り添った支援を行い、決して参加などを無理強いはいしない。</li> <li>・安全管理を徹底し、何かあれば保護者に報告・相談をして安心してわが子を通所できる施設を目指す。</li> </ul> </li> <li>3. 使命感 (Commitment)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの未来を支える大人の一人として、常に真剣に子どもと接する。</li> <li>・常に子どもたちの味方になれるように日ごろから信頼関係を構築していく。</li> <li>・多職種でのチームワークを大切にしながら、より良い支援を追求する。</li> </ul> </li> </ol> <p>この3つの柱を軸に、子どもたちの笑顔と成長を支える場所を目指します</p>			
営業時間		9 時 0 分から 18 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<p>構造化を意識した部屋のレイアウト、感覚過敏の子にはイヤーマフを用意する、毛布の用意をするなどの配慮                  排泄等の基本的なADLを身につける支援…トイレ誘導にて排尿・排便コントロールの促し                  SSTなどを通して生活リズムの構築…食事・運動・睡眠の大切さをSSTなどを通して学習                  来所時には必ず手洗い・うがいを誘導し、セルフケアの習慣化・意識を促す。                  調理活動などを通して将来の生活に向けた知識・スキルを得られるようにに支援。</p>			
	運動・感覚	<p>外遊びや工作活動等の遊びを通して粗大運動・巧緻運動の発達を促進                  リズム運動や音楽を活用することでリズム感・表現力・協調性を促進                  子どもの運動能力・興味に合わせた活動を提供し運動への参加をうながす                  体を動かしながら感覚統合を目指していく（トランポリン、平均台、バランスボール）</p>			
	認知・行動	<p>学習支援では個々の認知段階に合わせた模写課題、記憶課題などのワークシートを使用                  ブロック遊びなどで物の個数や形、重さや色、機能の視覚・空間認知形成ができるように支援                  小集団でのボードゲーム遊びなどを通して認知の偏り等の個々の特性に配慮しながら、感覚形成を促進</p>			
	言語 コミュニケーション	<p>ルールや約束をイラストや写真を使い視覚的に支援し振り返りを行う                  気持ちのコントロールを感情カードを使用して表現、自分の気持ちを表現する機会を設ける                  社会で役立つ行動スキルを育てる（挨拶、順番を守る、身の回りのことを自分でやる）                  ことば遊びを通じた音韻操作の学習（しりとり、ためきことば、かるた遊び、逆さ読み）                  絵本・絵カードを活用した語彙力の学習（イラストを見て言葉を当てる）</p>			

	人間関係 社会性	無理に集団活動はおこなわず、一人ひとりのペースを尊重していく 最初は職員と個別に関わり一人遊び・並行遊びから徐々に協同遊びをできるように社会性発達の促進をしていく スタッフが間に入りながら適切な関わり方をサポートし、人とのやりとりの成功体験を積む 外出活動、ごっこ遊び、SSTを通して社会的ルールを学ぶプログラムを実施。 イベントなどを通して役割を持って活動する機会を増やしていく	
	家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭でできる遊びや学びのアイデアを提供（簡単な運動・感覚遊び、療育内容の紹介）</li> <li>・ 子どもの得意なことや好きなことを共有し、家庭での会話のきっかけを増やす</li> <li>・ 真摯に保護者の相談に乗ることで子育ての孤立感を軽減</li> <li>・ 「親が余裕をもっていることが、子どもの成長につながる」ことを意識し、家庭の負担を減らす支援を行う</li> </ul>	<p data-bbox="1178 371 1263 395">移行支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就学に伴う環境の変化に適應できるよう、事前に見通しを持たせる</li> <li>・ 「できること」を増やし、自信を持って進学できるようサポート</li> <li>・ 学校や家庭と連携し、一貫した支援を提供（個別の支援計画に基づいた移行支援）。</li> <li>・ 子どもが環境の変化に関わらず前向きになれるよう支える</li> </ul>
	地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の支援機関と連携し、家庭が使える支援サービスの情報を提供</li> <li>・ 子どもが家庭、学校、地域で一貫した支援を受けられるようにするために情報共有を活発に行う</li> <li>・ 地域社会の理解を深めるために、地域住民も巻き込んだイベントの開催をおこなう</li> </ul>	<p data-bbox="1151 571 1290 595">職員の質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員同士で学び合う社内研修</li> <li>・ 研修への参加促進（発達障害、行動支援、虐待防止、家族支援など）</li> <li>・ 「子どもと一緒に楽しむ」ことを大切にする文化をつくる（職員もイベントに積極参加）</li> </ul>
	主な行事等	<p data-bbox="949 695 1563 719">・ 初詣・節分・運動会・遠足・クリスマス会・全事業所合同活動など</p>	